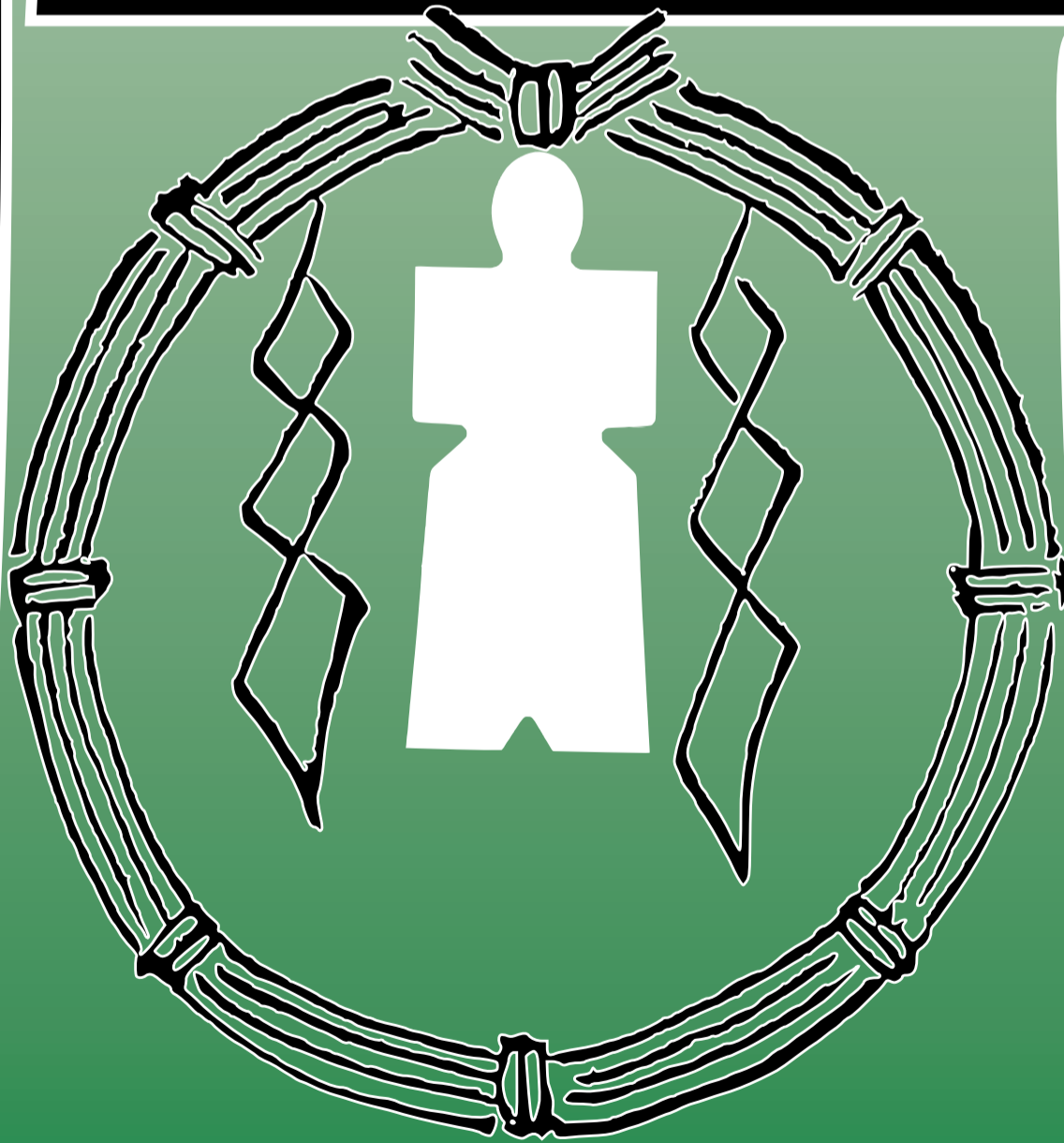


和樂備神社

大祓

おおはらえ

ひとがた
人形頒布中

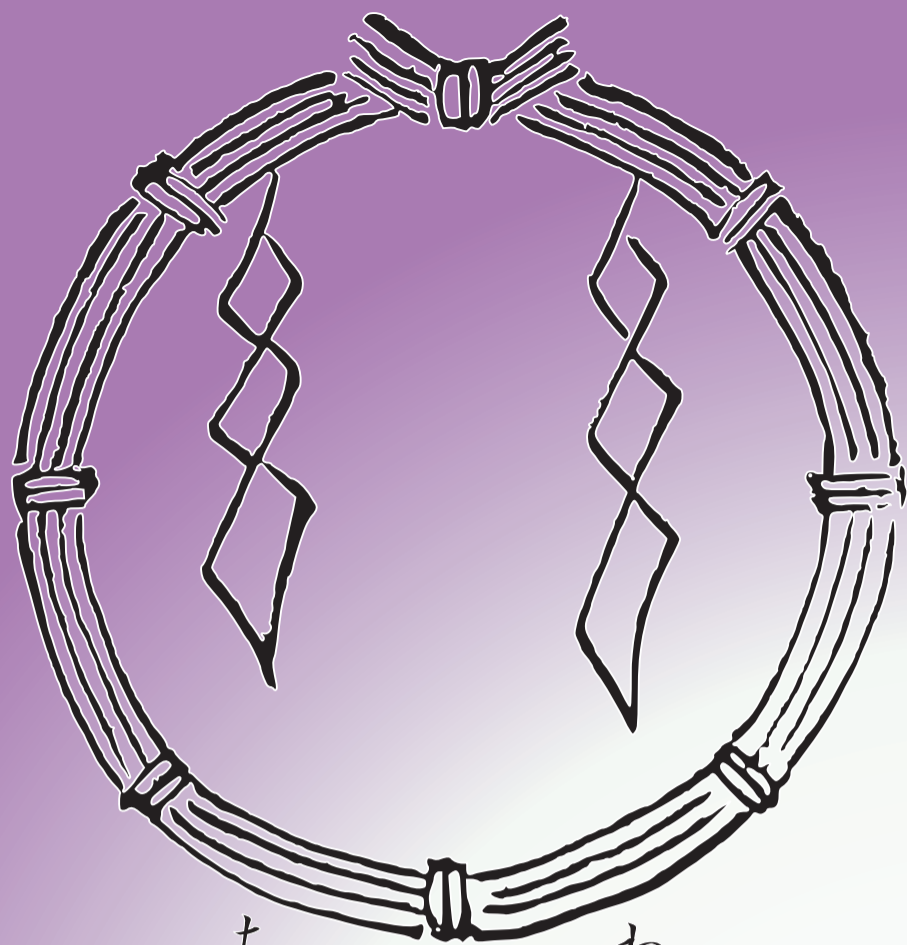


六月三十日午後五時大祓式齋行

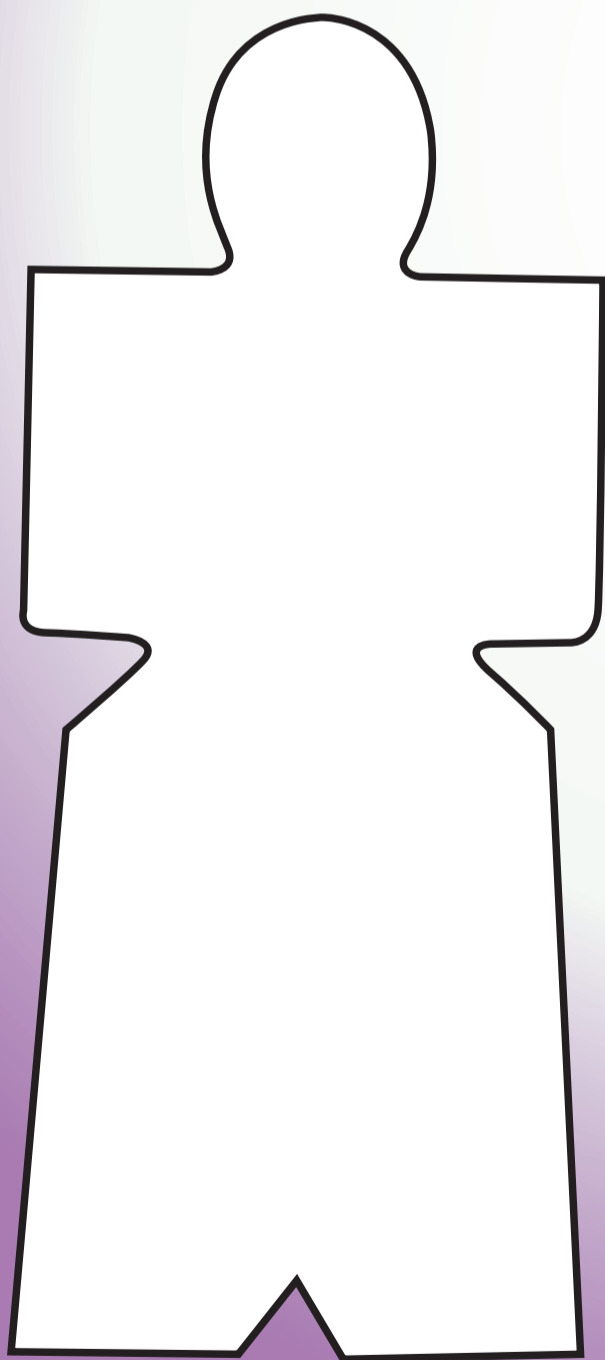
夏の越の大祓

古来、我が国では、人は知らず知らずのうち罪や穢れを犯し、心身が穢れてしまおうと考えられていました。そこで罪や穢れを祓い清めるために毎年六月と十二月に「大祓」という神事が行われていたことが平安時代に編纂された「延喜式（えんぎしき）」という書物に記されています。

特に、六月の「大祓」は、「夏越（なごし）の祓（はらえ）」と呼ばれ、大祓詞を奏上し、茅の輪をくぐり、夏の厳しい暑さや悪疫を追い払い「人形」に罪や穢れを移し祓い清め、心身に活力がよみがえると伝えられています。当社では、茅の輪を作り、「人形」をお配りし、罪や穢れをそれに移して、お納め頂き、お祓いを致します。



茅の輪



人形